

事例研究1)ーA
積木の街
2～3年 個人・グループ 4時間

◇活動内容

つむ・かさねる・ねばす

◇学習の条件

- 自分で住んでみたいような家をつくろう。
- グループで協力して大きな家をつくろう。
- みんなの家を集めてきれいな街をつくろう。

◇学習の過程

- 1 木片を観察する。
- 2 形を考える
 - ・木片のいろいろな組み合わせを考え、その中から選択する。
- 3 木片をみがく
 - ・紙やすりでみがき、木肌の美しさを生かすと同時に着色しやすくする。
- 4 組み合わせる
 - ・木工接着剤でしっかりつけるため、乾燥するまで輪ゴムで留める。
- 5 飾る
 - ・できるだけ木の肌を生かすようにして、フィールトペンやクレヨン・クレパス・ポスターカラーなどを使用して行う。
- 6 鑑賞する
 - ・全員の家を集めて街をつくり鑑賞する。

◇留意点

全員の家を集めて街を構成させる際、外なら砂場に丘をつくり、丘のある街にするとか、教室なら大きな紙に道路を描きこみ、平たんな街にするなど街をつくる環境を整え、児童たちの活動が一層楽しくなるよう配慮したい。

◇題材設定理由

- いろいろな形の木片は、子供たちがそれを組み合わせ、いろいろな家を考え出すのに適当である。
- 紙やすりをかける程度の技法で、そのまま使用できるので、無理なく木の扱いに慣れ親しむことができる。

◇材料・用具

小さな木片・木工接着剤・紙やすり
クレヨン・クレパス・ポスターカラー

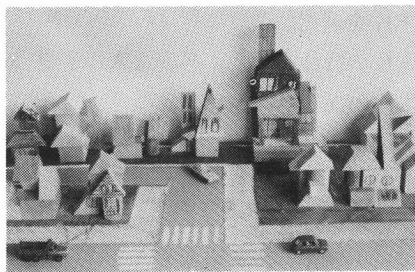
◇学習のねらい

- (心情) ・木の香りや木の肌に触れ親しみ楽しい形をイメージすることができる。
- (造形) ・木片の形を生かしながら思考し構成することができる。
- (技能) ・紙やすりで木の表面をみがききれいにすることができる。

◇作例

2-1 街かど

—いろいろな形の家があり楽しい—



2-2 丘の街

—砂の丘に、構成した街が美しい—

